

令和5年度 都市計画部の各課・室に対するご意見及び回答の要旨

NO.	担当課	意見の要旨	回答の要旨
1	都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> ・川口駅舎の増築計画はあるのか。 ・旧そごう川口店の使用用途は決まっているのか。 ・川口駅周辺で取り組んでいる計画はどのようなものがあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通拠点リニューアルプロジェクトについては、昨年11月にJR東日本と中距離電車の川口駅停車の調査に関する協定を締結し、計画案の検討を進めており、川口駅のホーム増設及び駅舎のリニューアルに係る計画案の作成等を検討しているところです。 ・旧そごう川口店の使用用途については、本市といたしましても、駅前のシンボリック存在であった旧そごう川口店が長らくこうした状況であることは重く受け止めているところであり、川口駅前のにぎわい等、地域経済の影響も大きいことから、情報収集に努めるとともに、今後の動向に注視して参ります。
2	都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> ・西川口駅西口は、未利用建物や駐車場が多く、耐震性の観点からも危険な建物が多い。 ・今後の当該地区の活性化策をどのように考えているのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・西川口駅周辺は一つ一つの街区が小さく、高度利用を図ることが難しい状況ではありますが、土地の高度利用を図るために、街区を統合することも視野に入れながら、今後のまちづくりの検討を進めているところです。 ・引き続き、西川口駅周辺地域のポテンシャルを最大限に活かした、より賑わいのあるまちとなるよう、取り組んで参りたい。
3	都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> ・川口元郷駅利用者にとって利便性の高い生鮮食品を取扱うコンビニやミニスーパーを要望する。 ・建物の外観色について、黒系の暗い色ではなく、圧迫感のない明るい色彩に変更してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・川口元郷駅周辺においては、本市としても川口元郷駅周辺に生活サービス施設が不足していることを認識しているため、ご意見を川口元郷駅利用者の要望として、引続き事業者申し伝えます。 ・建物のデザインや外観色は、企業のブランドイメージもあるため、景観形成基準で定めている色彩のなかで計画されている場合は、行政から変更を要請することは難しいのですが、外観の色について、圧迫感を感じさせないような明るい色彩を求める旨のご意見があったことを事業者申し伝えます。
4	都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> ・混雑していることは承知しているが、中距離電車のホーム増設が市や利用者のためになるのだろうか。 ・SRへの分散化を目指すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市としては、駅再整備が必要であると考えており、引き続き、検討を進めて参りたい。 ・今後の予定は、駅再整備計画案を公表し、計画案について皆様からご意見を伺うこととしております。

5	都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ湘南新宿ラインではなく、上野東京ラインなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・川口駅は、県内のJR線で大宮駅、浦和駅に次ぐ第3の規模を有しているが、乗り入れ路線が京浜東北線一線であることから、通勤・通学時間帯の混雑に加えて、列車の遅延・運休時には駅舎内や駅前広場等に駅利用者があふれている状況にある。 ・こうした状況を受け、市としては、中距離電車の停車による鉄道輸送力の増強に向けた検討を進めて参りました。 <p>上野東京ラインと湘南新宿ラインとの比較したところ、本数増加の可能性、混雑率、利用者ニーズ、緊急時の代替性等の観点から、本市としましては、上野東京ラインを停車対象として、今後の検討を進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の予定は、4月以降にパブリックコメントを実施し、その中で詳細な情報を開示していく方針としており、皆様からのご意見を伺うとともに、併せてJR東日本と協議をしていきたい。
6	都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> ・新井宿周辺は、屋根とベンチがあるだけで他に何も無い。駅前広場は、車の乗降スペースがあるが狭い。 ・住みやすいまちにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新井宿駅北側の市街化調整区域において規制緩和策を講じているところであり、構造改革特別区域による市施行の土地区画整理事業の実施について検討を進めている。この計画（案）のなかに、アクセス道路を新たに整備し、その沿道に農業と観光を融合した地域の活性化策も検討しているところである。 ・現在の新井宿駅前広場は、暫定的に広場を運用していることから、不便をおかけしている状況である。今後は都市計画で定めた駅前広場について、事業推進の見通しとなっており、順次用地を取得し本整備を進める計画である。
7	都市交通対策室	<p>JR川口駅などで「川口市民歌」を電車発車時に流れる発車メロディーとして使用したことがあったが、メロディーのアレンジを改善してみたので、市制施行90周年の一環としてお使いいただきたい。</p>	<p>本市では、市政施行90周年を記念して、各種事業を計画しているところではありますが、発車メロディーの変更については、予定しておりません。</p>

8	都市交通対策室	朝夕通勤時間帯やサッカーの開催日に東川口駅のホームや武蔵野線の車両が混雑して困っている。市から、JR東日本へ改善提案をしてほしい。	武蔵野線の混雑緩和のための対応策については、列車の増発やホーム拡幅等の整備について、武蔵野線の沿線自治体で構成する協議会を通じて、JR東日本に対し毎年要望を続けておりますが、未だ実現には至っておりません。今回の東川口駅のホーム増設等の要望や意見は、JR東日本に伝えるとともに、今後も機会をとらえ、同社に対し、働きかけて参ります。
9	都市交通対策室	みんななかまバスのダイヤについて、コロナ禍でダイヤの変更があったが、コロナの扱いが5類に変わったことから、元に戻してほしい。	みんななかまバスは、新型コロナウイルスの影響によるダイヤの変更は行っておらず、令和2年1月20日より現行ダイヤにて運行してまいります。
10	都市交通対策室	安行領家に住んでいるが、バスの本数が少なく困っている。最寄り駅も遠いため、アクセスの改善をしてほしい。	現在、市内を運行している路線バスや市のコミュニティバスは、利用ニーズを踏まえたうえで、安全に走行できる道路要件を満たすなど、様々な観点から検討された路線が設定されております。今回の意見を参考にさせていただくとともに、利用ニーズの変化を捉えながら、今後も、交通事業者と連携して、公共交通の利便性向上に努めて参ります。
11	都市交通対策室	西川口駅を発着するバスや電車が混雑して困っている。市から、交通事業者へ改善提案をしてほしい。	公共交通機関の混雑緩和につきましては、駅施設の改良やバス路線の見直しにより、乗り継ぎ環境を改善することが必要であると認識しており、今回の御意見、御要望は、各交通事業者に申し伝えさせていただきます。
12	都市交通対策室	川口市上空を低飛行する羽田空港新ルートは、騒音・落下物・墜落事故などとても心配である。新ルートを運用しないよう、市として国に申し入れてほしい。	国土交通省では、新たな飛行経路を設定するにあたり、到着経路の高度引き上げ等による騒音対策や世界に類を見ない厳しい基準を策定するなどの落下物対策に力を入れているとのことです。市では、引き続き県及び関係自治体と連携して環境対策や安全対策の着実な実施を求めて参ります。
13	都市交通対策室	みんななかまバスを日曜や休日にも運行してほしい。	日曜・祝日の運行につきましては、過去の運行経路等の見直しの際に、平日と比較して利用者が少ない運行実績を勘案し、取り止めた経緯がございます。また、日曜・祝日は、とりわけ乗務員の確保が難しい状況となっており、そうしたことから現状では、困難であると考えております。

14	都市交通対策室	埼玉スタジアムと連携を取り、音楽ライブにも開放するなど、利用者を増やし、埼玉高速鉄道の運賃を下げ、沿線の駅周辺をスタジアム帰りに利用しやすい程度に飲食店、商業施設などをふやしていくことを検討してほしい。	埼玉高速鉄道沿線の活性化は、これまで、埼玉県やさいたま市と連携して、沿線地域の魅力を車内ビジョンやウェブサイト等にて発信してきたところでございます。今後も埼玉県やさいたま市と連携してさらなる定住や集客の促進を図って参ります。
15	都市交通対策室	みんななかまバスは、医療センターで時間調整されるので不便である。もっと便利な運行を増やしてほしい。	みんななかまバスにおける医療センターでの時間調整は、法律で定められた運転手の休憩時間となっており、現状での見直しは困難であります。
16	都市交通対策室	川口パークループについて、グリーンセンターからイオンモール川口に行くまでに、かなり時間がかかるので工夫してほしい。	川口パークループは、来年3月までの実証運行であり、4月以降の運行につきましては、利用者数や頂戴したご意見を踏まえて、検討することとしております。
17	都市交通対策室	みんななかまバスの路線充実、増発、定時運行などを図ってほしい。	みんななかまバスの利便性向上に向けては、現下のバス事業者の運転手不足の深刻化を踏まえると、路線バスとの役割分担を明確にしたうえで、みんななかまバスのルート見直しを行い、市内バスネットワークの維持や充実に繋げることが必要であると認識しております。 今後は、バス事業者との緊密な連携の下で、みんななかまバス全体のルート見直し案の策定を進めて参ります。
18	都市交通対策室	高齢者が安心して利用できる公共交通のバスにするため、「乗り降りが容易に出来るようにノンステップバスの増車」、「停留所にベンチ・屋根の設置」、「高齢者向けの運賃軽減バスの運行」を検討してほしい。	ノンステップバスの増車につきましては、市内を運行するバス事業者に対して、車両購入費用の一部を補助しております。今後も、国・県と協調し、ノンステップバスの導入を促進して参ります。 また、停留所へのベンチ・屋根の設置や運賃軽減策につきましては、高齢者の皆様が利用しやすい環境づくりに努めるよう、関係部局とともにバス事業者に要望して参ります。
19	都市交通対策室	東本郷地域に居住しており、毎日、駅までバスを利用しているが、バスが常に遅延しており、通勤時には時間を読むことができず不便なので、鉄道の整備を検討してほしい。（原文は英語）	ご指摘のとおり、一部の路線バスでは時間帯によって遅延が発生する状況であると認識していますが、現在のところ、市内での新たな鉄道の建設は予定しておりません。
20	都市交通対策室	高齢者が病院通いする際、コミュニティバスは本数が少なく、路線が長すぎて不便であるため、仕方なく自家用車を運転をせざるを得ない人がいると思う。交通手段を確保できるような環境整備をしてほしい。	市内の公共交通につきまして、本市では路線バスを補完するため、コミュニティバスを6路線運行しておりますが、昨今の公共交通が抱える課題を踏まえ、路線の再編を検討しているところでございます。 市としては、この度頂戴したご意見を参考とし、市内の公共交通サービスの向上に努めて参ります。

21	都市交通対策室	市内に、自走・都市型ロープウェイを導入してほしい。	民間事業者による都市型ロープウェイの本格導入に向けた取り組みがなされていることは承知しており、市としては、この度頂戴いたしましたご意見を参考とし、その動向について今後も注視して参ります。
22	都市交通対策室	戸田駅・川口駅・鳩ヶ谷（新井宿）駅・草加駅・八潮駅などを結ぶ鉄道を建設してほしい。	現在、埼玉県内の東西を繋ぐ鉄道の整備について具体的な計画はないものの、埼玉県が日暮里・舎人ライナーについて、延伸の検討に必要なルート案ごとの事業費や採算性等の比較を進めているところでございます。 市としては、こうした検討の進捗を注視し、埼玉県や東京都において議論の進展があれば、協力して参る所存です。
23	都市交通対策室	安行出羽止まりの草加14系統を戸塚安行まで延伸してほしい。	バス事業者によりますと、新たな路線の新設や延伸は、昨今の運転手不足等の観点から困難であるとのことですが、今回ご要望いただいた内容について、個人情報等を伏したうえでバス事業者に申し伝えさせていただきます。
24	都市交通対策室	視覚障害者等の転落事故を防止するホームドアのJR東川口駅への設置早めること、また、設置されるまでの間、視覚障害者のホーム転落防止等安全対策を行うことをJR東日本に申し入れてほしい。	本市といたしましては、武蔵野線沿線市で構成する武蔵野線旅客輸送改善対策協議会を通じ、ホームドアの整備と合わせて、ホームからの転落事故を防止するための措置を講ずるよう、毎年JR東日本に要望しているところでございます。 引き続き、早期にホームドアの整備を進めるよう、要望して参りたいと存じます。